

## 楽しく過ごしました 保護者懇親会

先週末の23日（金）の夜に、KKRにて職員の歓送迎会・保護者懇親会が開かれました。夜の会でもあり、それぞれのご事情もありますので、全員参加とはいきませんでした。たくさんの方々とご家族の方に参加いただきありがとうございました。

転出者4人のうち、吉岡さんと久村さんに参加していただきました。それぞれのテーブルで、思いで話や今の仕事の様子などを話しておられました。また、今年度転入の5人の職員にも参加してもらいました。保護者の方とじっくりとお話をしたり、利用者さんの学苑ではない別な姿を見たことにより、これからの利用者さんとのかわりに活かされていくのではと期待しています。

また、今年度から新しく利用されるようになられた3人の中から、井手咲更さんが参加されました。初めは緊張されていたのか表情も硬い様子でしたが、次第に食事も食べられるようになり、ステージでカラオケが始まるとノリノリで、満面の笑みとともにリズムよく体を動かしておられました。



今年度もさらに、利用者さんとご家庭と職員と一体になって、楽しい学苑生活を築いていかなければと思ったところでした。今後ともよろしくお願ひします。

最後になりましたが、準備から会の運営まで保護者会の方々に行っていただき、とっても楽しい会となりましたことに感謝申し上げます。誠にありがとうございました。来年の会を楽しみにしていますし、今年よりも多くの方々に参加していただけたらいいなあと思っています。

## 役所からのお知らせには十分な注意を

先日、学苑の方にも「障害福祉サービスの利用者負担上限認定申請受付について」という文書が送られてきました。今回の申請は、学苑でも数名の方と聞きましたが、家庭の方に送られてきましたら、必ず申請をされますようお願いいたします。

福祉は、ほとんどが申請しないとサービスを受けられないシステムになっています。期限を過ぎると、0円で済むところが、数万円必要になるということもあるようです。よくわからないことがありましたら、遠慮なく学苑までご相談ください。



## 柿原公園から元気な声が聞こえます

10時過ぎころ、柿原公園から少しにぎやかな声が聞こえてきます。4月から生活介護の3グループで実施している「ウォーキング」での利用者さんの声です。

玄関を出て、門の脇から公園を眺めると、ちょうどつくしの丸木さんと谷口さんと高木さんが歩いていました。普段はゆっくりと歩いている谷口さんですが、丸木さんや高木さんの歩くペースに遅れることなく、元気に歩いていました。

私は、50年近く、第5腰椎分離症と付き合ってきています。ときどきおいたをしてくれて痛みから歩きづらくなることがあります。かかりつけの整形外科では、毎日朝から少なくとも30分は歩きなさいと言われます。腕を大きく動かして歩くのではなく、姿勢を気にして普通に歩きなさいと言われます。

少しずつのウォーキングかもしれませんが、気分的にも体力的にもいい効果を発揮してくれるものと信じています。